

◇平成27年度 多自然川づくり近畿地方ブロック担当者会議 表彰一覧

(優秀賞)

発表事例タイトル	発表者	事例の概要
工事の施工段階において挑戦してみた多自然川づくりの経過報告	福井県 丹南土木事務所 山本 幸一	元来の自然環境が良好な天王川において、H25に当会議にて事例紹介した施工段階における多自然川づくりの取り組みのその後の経過を報告。
鵜殿ヨシ原保全の取り組みについて	淀川河川事務所 今津 信哉	鵜殿地区(大阪府高槻市)のヨシ原は昭和40年代に淀川改修工事により、水位低下して高水敷の乾燥化が進行した。そこで、水辺環境の変化に伴い、ヨシ原の保全・復元にむけた高水敷の切下げやヨシ原への導配水によるヨシ原の生育範囲のモニタリングや課題を踏まえ、更なるヨシ原保全に向けた取り組みについて述べる。
高水敷切り下げ箇所と湿地形状の改良について	豊岡河川国道事務所 小川 洋	円山川では、平成16年台風23号による被害を受け、激特事業において河道掘削を行っており、その際、高水敷の切り下げ高を工夫することにより、湿地を創出した。しかし、施行後のモニタリングでは、当初想定していた湿地性植物群落の定着が見られないなどの課題が見えてきており、湿地の質的向上を図るため、湿地形状の改良に取り組んだ。

(審査員特別賞)

発表事例タイトル	発表機関	事例の概要
フラッシュ放流等による河川環境改善の効果検証	(独)水資源機構 一庫ダム管理所 佐藤 仁泉	一庫ダムの管理により流量が安定し、土砂の供給が絶たれ、河川環境が変化したことにより魚類等の生息環境が悪化している。平成14年から猪名川漁業と協働で始めた土砂還元とフラッシュ放流による河川環境改善の取組効果を定量的に評価したので、その事例を紹介する。
シロザケが還る川づくり	京都府 丹後土木事務所 山岡 誠	天橋立の内湾、阿蘇海に流れる野田川にシロザケの遡上が近年流域の住民により確認されており、サケが還る川づくりに配慮した河川改修計画及び工事の取組事例。